

長野県埋蔵文化財ニュース

No. 28

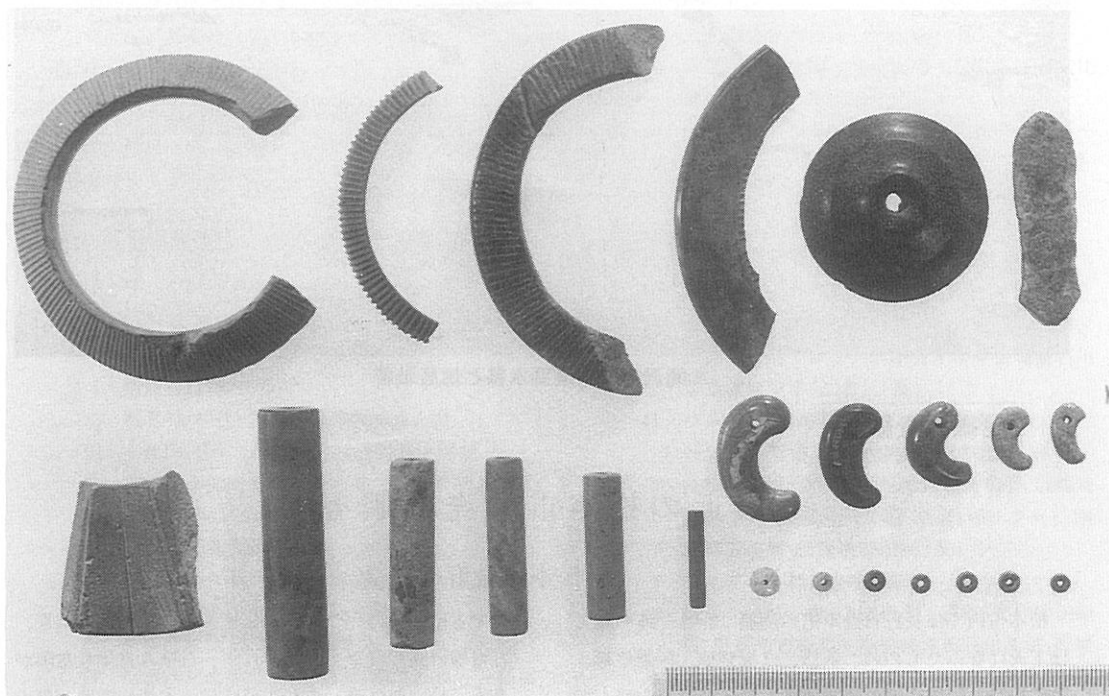
1989.8.30

(財)長野県埋蔵文化財センター

長野調査事務所

〒388 長野市篠ノ井布施高田字佃963-4

TEL 0262-93-5926



車輪石・石釧・銅鏡などを出土した。

古墳時代の祭祀遺構 —石川条里遺跡—

石川条里遺跡は弥生時代以降、現代に至る水田跡を主体とした遺跡である。しかし、JR篠ノ井線稲荷山駅の西方、調査区⑤・⑦・⑧・⑩(合計15,000㎡)は微高地が発達し、江戸時代以前は居住の場であった。すでに昨年度の調査で、古墳時代前期末から中期初頭の大溝(幅10、深さ1.5m)で囲まれた土坑群からなるきわめて特殊な遺構であることを理解していた(当センター年報5)が、今年度の調査で昨年検出された東西2本の大溝が調査区南側で連結し、その平面形はまさに前方後円墳の前方部から後円部の一部にかけた形に似ていることが判明した。しかし、北側は用地外に大溝が伸びていることから、全平面形は不明である。大溝間の最大幅は130m前後、大溝区画内の土坑数は300を上まわる。

写真の遺物は、大溝と土坑内から出土したものである。

大溝内からは土師器(壺・小型丸底土器・高杯・器台・甕など)、鋤・籠や多量の板材などの木製品、モモなどの種子類などとともに、銅鏡片1・銅鉄片1・車輪石片1・石釧片3と少量の管玉・勾玉・ガラス小玉・白玉などが、土坑内から硬玉製勾玉・メノウ製勾玉・滑石製勾玉・同白玉・紡錘車などが、多量の土器類などとともに出土した。車輪石と石釧は緑色凝灰岩製である。県内出土の車輪石は当遺跡の背後の山頂にある川柳將軍塚古墳(前方後円墳)から出土したという1点(「信濃奇勝録」)につぐものであり、石釧は須坂市鏝塚1号墳、丸子町鳥羽山洞穴遺跡につぐ3例目である。

以上の遺物は4世紀末から5世紀前半頃のものであろうが、例をみない遺構と出土遺物のあり方は、今まで不明であったこの頃の祭祀の実態などを明らかにするうえできわめて注目すべき資料と云えよう。

佐)主任青島重子(農業大学校)調査課長青沼博之(調査研究員)調査第2課長白田武正(調査研究員)調査課長代理寺島俊郎(調査研究員)調査研究員齋藤武(湯谷小)伴信夫(更埴西中)田中正(柳町中)渡辺敏泰(古牧小)越修一(森上小)岡沢康夫(山ノ内西小)駒津武茂(常盤中)飯島明孝(信州新町中央小)土屋積(屋代高)宮下健司(長野県史)小林清人(新採)下島浩伸(同)入沢昌基(同)武居公明(同)稲場隆(同)黒岩隆(同)

○新任(8月1日付)

調査研究員大久保邦彦(水道課)中沢道彦(長野地方事)鶴田典昭(新採)広瀬昭弘(同)川崎保(同)町田勝則(同)

(財)長野県埋蔵文化財センター日記抄(4月~8月)

元.4.1 辞令交付(県庁)

- 2 綿内地区地権者説明会(長)
- 3 第1回全体会・調査員会
- 4 新任者研修(~6日)
- 5 坂北村・松代・若穂農協等挨拶まわり
- 10 下茂内(佐)・鳥林(長)両遺跡調査開始
- 11 若穂工事区内埋文打ち合せ(公団・長野高速・文化課・センター)(長)
- 12 松原遺跡調査開始(長)
- 13 石川条里・篠ノ井遺跡群調査開始、若穂工事区内埋文打ち合せ(公団・長野高速・センター)、飯山南高校 高橋桂氏来所(長)
- 14 信濃高速事務所開所式(副理事長)、稲荷山トンネル安全祈願祭(所長ほか)
- 15 若穂農協との打ち合せ(長)
- 17 榎田遺跡調査開始(長)
- 18 向六工遺跡調査開始(長)
- 20 北村遺跡人骨整理解業講習会(独協医大茂原、明大阿部・西沢3氏来所)(~21)(松)
- 24 奈文研松沢亜生室長来所(佐)
- 25 東部町教委石川条里遺跡見学(45名)、赤旗石川条里遺跡等取材(長)
- 26 川田条里遺跡調査開始(長)、佐久市教委須藤隆司・御代田教委提隆氏下茂内遺跡石器見学、立科町大庭遺跡調査団島田恵子氏来所(佐)
- 27 塩崎地区埋文打ち合せ(熊谷・大林、名工・矢作企業体、センター)(長)
- 5.2 篠ノ井高校社会科クラブ石川条里遺跡見学(5名)(長)
- 9 SBC石川条里取材(長)、公団上田工事事務所竣工式(副理事長)、東京二建精算確認(佐)
- 10 松代新聞松原遺跡取材(長)
- 11 所長・部課長会議、三所全体会(篠ノ井)
- 12 全国埋文協関係会議出席(常務・調査部長・松本庶務部長補佐)(大宮市)
- 14 県考古学会総会にて石川条里水田跡及び下茂内

遺跡について発表(松本)

- 17 法人会計監査
- 18 長野市埋文センター所長以下松原遺跡視察(6名)(長)
- 19 長野市新幹線・高速道対策課榎田遺跡等視察(5名)
- 22 文化課との打ち合せ(長)、下茂内遺跡調査終了(佐)
- 23 歴史博平川南氏松本市内出土の漆紙文書など文字関係資料鑑定(歴史博)(松)
- 24 調整会議(公団・高速道局・長野高速・文化課・センター)(長)
- 25 北村人骨につき独協医大河部氏指導(松)(~26)、長野市立綿内小6年児童榎田遺跡見学(80名)(長)
- 26 名古屋公団精算確認(長)
- 28 日本考古学協会にて北村遺跡発表(東京)
- 30 第17回理事会(篠ノ井)、NHK・NBS・TSB・信毎・読売・毎日・中日松原遺跡等取材、長野市南部ブロック学年会4学年会職員石川条里遺跡見学(20名)(長)
- 31 サンケイ・信毎石川条里・松原遺跡取材(長)、松代農協対策委員会総会(所長・部長・課長)
- 6.1 長野県史刊行会塚田主任編集委員来所、塩崎地区内埋文打ち合せ(公団・業者・センター)、毎日石川条里・松原遺跡取材(長)
- 2 文化課との打ち合せ(長)
- 3 筑波大岩崎卓也・奈文研木下正史・文化庁山崎信二・更埴市教委矢島宏雄各氏石川条里・松原遺跡視察、信毎・毎日松原遺跡等取材(長)、仮称「県立歴史館」について文化課と打ち合せ
- 4 鳥林、石川条里遺跡調査区⑥・⑦・⑩現地説明会(見学者300名)、朝日・信毎・読売・TSB・NHK取材(長)
- 5 長野県史刊行会中嶋常務・塚田主任編集委員来所、埼玉県立本庄高校坂本和俊氏石川条里遺跡見学、朝日・TSB石川条里遺跡取材(長)
- 6 大室古墳群調査打ち合せ(明大大塚・小林両教授、石川助手、文化課、センター)(明大)(長)
- 7 文化財に関する施設建設基本構想懇話会(副理事長)、田中琢奈文研埋文センター長松原・川田条里遺跡視察(長)
- 8 高速道関連調整会議(公団・高速道局・長野高速・文化課・センター)(長)、全国埋文協総会(局長ほか)(静岡県)
- 9 明大小林三郎教授・石川日出志助手石川条里遺跡等視察、鳥林遺跡調査終了(長)、第1回所内研修会—塩尻市菅沼沢遺跡出土品見学(松)
- 13 岡谷市南部中小口徹氏来所、信大笹本正治助教授石川条里遺跡視察、石川条里遺跡②-1調査区調査開始(長)
- 14 文化課岩野地籍試掘立ちあい、長野市立東条小学校児童松原遺跡見学(98名)(長)

平された中期古墳6、後期古墳1、溝34など多岐にわたる。時期毎に見ると遺跡は、縄文前期末の住居址と土坑群、古墳前期の集落、中期古墳群、中世墓址群と変遷している。各時期とも市内では最大級の遺構群であった。遺物で注目されるのは11号古墳の周溝内から一括出土した土器群で、初期須恵器（陶器ON-46窯型式）の坏、蓋、甕、甕を含んでいる。

5 北栗遺跡

島立の奈良井川左岸段丘上の平坦地に広がる。今回は第4・5次調査で、調査面積は9,320㎡。北栗集落北縁および東縁部を対象とし、古墳時代末～平安の住居址63、建物址17等を検出した。遺物で重要なものは、東縁部地区の11世紀代と見られる住居址から得られたきわめて薄手の銅鏡片多数と、白磁破片である。長野自動車道その他の発掘で島立地区南部には全域的に古墳後期～平安の集落址が展開することが予測されているが、11世紀代の核的な地点になるのであろうか。

6 三間沢川左岸遺跡

和田西原の平坦な洪積台地に広がる。昭和62年度に続く第2次調査。調査面積は合計18,000㎡。発見された遺構はすべて平安時代前半のもので、1・2次あわせて住居址273、建物址13、溝12、墓址2などである。住居址のなかには小鍛冶遺構もあり一抱えもある大きな鉄床石が中心に据えられていた。溝址は単なる自然流路ではなく計画的に遠方から導水した用水路で、幅2m、深さ1mの規模で遺跡の中心を100m以上にわたって直進し、この遺跡の性格をよく表している。今回出土の遺物も1次調査同様貴重品が多く、多数の緑釉陶器、銅製・石製の帯飾り（巡方）、海獣葡萄鏡の破片などがある。

7 大村遺跡

浅間温泉の南、女鳥羽川左岸の南へ緩傾する水田地帯。かつて古瓦が出土し、大村庵寺址と考えられた一帯にあたる。第3次調査。調査面積約2,000㎡の中に奈良～平安の住居址24、土坑17などが存在した。注目すべき出土遺物としては、数点の緑釉陶器と多数の古瓦片があるが、いずれも堅穴住居址中からの出土。

8 その他の調査

松本城西馬出し跡（近世）、林城址（中世）、旧射的場西遺跡（古墳～平安）、出川南B遺跡（古墳）、宮淵本村遺跡3次（弥生～古墳）、下神遺跡（平安・中世）、畠町遺跡6次（平安）、南中島遺跡（平安）、三の宮遺跡3・4次（古墳～近世）、神田遺跡（奈良・平安）の10遺跡を調査。

【平成元年度】

1 小原遺跡

芳川小屋・村井の北方平坦地。県道松本環状高家線延長に伴う発掘で、東西約500mにわたり道路幅を調査。面積は6,500㎡。JR篠ノ井線と交差する付近を中心に奈良～中世の住居址30を検出した。全体的に遺物は少ないが、第15号住居址からは、脚部を2/3ほど欠くが全形のわかる須恵器製の円面硯が出土している。

2 出川南B遺跡

田川左岸の平坦な沖積地。JR南松本駅の南方500mにあたり、周辺は宅地化が進んで、調査地は芳野団地のなかに位置する。昭和63年度に続く第2次調査。合計面積2,620㎡、発見された遺構は古墳後期の住居址7、土坑、溝などで、遺物の量は少ない。本遺跡や出川遺跡など南松本駅周辺の発掘調査は近年になってようやく行われるようになり、今後の解明が期待される。

3 岡田西裏遺跡

松本市北部の岡田地区の女鳥羽川右岸、尾根状の南向き緩斜面にある。第4次調査。調査面積は2,380㎡で奈良～平安の住居址18、土坑60などを発見。土坑の大半は土師器焼成坑と見られ、多量の焼土を伴う。また貯蔵穴内に粘土を残している住居址があり、土器製作集団の集落であることが窺われた。本遺跡北西1kmの田溝池周辺には須恵器の古窯址群があり、この一帯は土器生産関連地域として捉えられる。

4 松本城葵の馬場跡

松本城本丸北側の堀に北接する県道の改良工事に伴う発掘。調査面積約400㎡。木樋、木管、竹管による6系統の水道施設が発見された。出土遺物は銭、釘、土錘、瓦片、陶磁器片などである。江戸時代中期の遺構と考えられる。

5 その他の調査

本年8月現在で調査中の遺跡は、針塚古墳、大村遺跡（奈良・平安）、出川遺跡（中世）、弥生前遺跡（縄文中期）の4遺跡である。

【報告書作成作業】

昭和63年度刊行の正式報告は『向畑Ⅱ』『千鹿頭北』『島立条理Ⅲ』『島内遺跡群』『三の宮』『出川南BⅠ』『下神』『松本城西馬出し』『神田』『宮淵本村Ⅲ（遺構編）』の10冊。概報は『三間沢川左岸Ⅰ』『旧射的場西』『坪の内・向畑・南中島』の3冊。

今年度は、現在、昨年度調査の南方、大塚、坪の内、向畑Ⅲ、県町Ⅱ～Ⅶ（昭和59年度から）、北栗Ⅳ・Ⅴ、三の宮の各古墳・遺跡を整理中。年度内に正式報告の刊行を目指している。

昭和 63 年 ～ 平成 元 年 度 市

No.	遺 跡 名	所 在 地	期 間	目 的 因	主体者	担 当 者
1	ごん恒川	飯田市座光寺4609-1	元. 2. 6 元. 3.10	範囲確認調査	市教委	小林 正春
2	なごくま名古熊	飯田市鼎名古熊	63. 6. 7 元. 3.31	道 路	市教委	"
3	大 明 神 原	上郷町黒田2009-2	63. 6.13 63. 7.12	農 業 関 連	町教委	山下 誠一
4	旧射的場西	松本市大字沢村2丁目	63. 6. 1 63. 7.20	変 電 所	市教委	神沢昌二郎
5	お供平	上水内郡信州新町大字下市場60-1	元. 3. 6 元. 5. 2	グ ラ ン ド	町教委	松永 満夫
6	八 幡 原	上郷町黒田3380-1	63. 6.20 63. 6.29	道 路	町教委	山下 誠一
7	今 村	上郷町黒田982	63. 8. 1 63. 8.13	道 路	町教委	"
8	南 原	上郷町飯沼3212-1	63. 7.13 63. 7.30	住 宅	町教委	"
9	小 林	駒ヶ根市中沢11929、11927-1	63. 9. 2 63.10.30	農 業 開 発	市教委	林 茂樹 気賀沢 進
10	石原A・白石	更埴市大字八幡字石原白石	63. 9.12 63.12.10	県営工業団地	市教委	佐藤 信之
11	七瀬4号古墳	中野市大字七瀬字北原1272-3	63. 7.26 63. 9.26	住 宅	市教委	金井 汲次
12	しもかん下神	松本市大字神林	63.10.18 63.11.18	農 業 開 発	市教委	神沢昌二郎
13	三 の 宮	松本市島立3340-イ	63.11.14 63.12.28	農 業 開 発	市教委	"
14	篠ノ井遺跡群	長野市篠ノ井山崎	元. 1.23 元. 2.28	道 路	市教委	矢口 忠良
15	川 底	上郷町別府2481-1	元. 2.20 元. 2.28	道 路	町教委	山下 誠一
16	舟 保	上郷町飯沼1154-1	元. 1.20 元. 1.24	道 路	町教委	"
17	向畑遺跡II	松本市大字中山	63. 7.11 63. 9.27	農 業 関 連	市教委	神沢昌二郎
18	城	飯田市松尾城399-3	63.10. 3 元. 7.31	公 民 館	市教委	小林 正春
19	鑄 揚 げ	諏訪市大字豊田有賀4199	63.10. 1 63.11.15	範囲確認	市教委	宮坂 光昭
20	榎垣外 (上の原)	岡谷市長地字上の原2802	63.11.18 元. 1.31	駐 車 場	市教委	会田 進
21	榎垣外 (古屋敷)	岡谷市長地字古屋敷4076-8	63.11. 8 元. 1.31	駐 車 場	市教委	"
22	栗 屋 元	下伊那郡上郷町黒田	62.10.20 元. 7. 3	道 路	町教委	今村 善興
23	榎垣外	岡谷市長地字小田野汐下 ³¹⁶⁴⁻¹ ³¹⁶³⁻³	63.11. 8 元. 1.31	駐 車 場	市教委	会田 進
24	上 屋 敷	岡谷市長地5534-1、5534-2	63.12.19 元. 1.31	資 材 置 場	市教委	"
25	梶垣外	下伊那郡上郷町黒田1656番地7	元. 3.15 元. 5.31	宅 地 造 成	町教委	山下 誠一
26	日 向 田	飯田市鼎切石3817番1	元. 2. 7 元. 5.31	店 舗	市教委	小林 正春
27	なまに生仁	更埴市大字雨宮字生仁1594-1 他	元. 5. 8 元. 5.13	宅 地 造 成	市教委	矢島 宏雄

町 村 別 発 掘 調 査 一 覧 (その1)

時 代	調 査 主 体	主 要 な 遺 構	主 要 な 遺 物	要 所	見 所
縄文		住居16、溝3 他	土師器、須恵器、コンテナ30		
縄文・中世		——	縄文石器整理箱1、中近世陶器整理箱5		
縄文・弥生 平安・中近世		住居16、土坑80、溝10	縄文・弥生土器、弥生石器、平安土師器、中近世陶器		
古墳・奈良 平安		——	須恵器、土師器、金環		
旧石器～ 近世		住居20、土坑110、井戸5	縄文土器・石器、陶器、骨片、炭化物		
縄文・弥生 平安・近世		住居3、土坑15	縄文土器・石器、平安土器、近代陶器		
縄文・弥生 奈良・平安		住居2、ピット多数、溝3	弥生土器、縄文土器片、石器		
縄文・平安 弥生・近世		ピット3	石器、近世近代陶器		
縄文		縄文時代中期後葉の配石 (300㎡)	縄文土器・石器、陶磁器		
古墳・奈良 平安		ピット群	土器片コンテナ10箱		
古墳		集石土坑、(中世以後2)	弥生土器片、石鏃		
平安		住居1、土坑67、ピット20 溝1、竪突状遺構1	平安・中世土器、須恵器、陶器、 縄文土器		
弥生・奈良 中世		礎石4、土坑34、溝11、 堀立柱建物2、柵列2	近世近代陶器		
弥生～平安		弥生住居3、溝1、古墳 住居3、平安住居6 他	縄文・弥生土器、奈良・平安土器		
縄文・弥生 中世		なし	近代陶器片3、鉄滓1、土器		
弥生～中世		なし	弥生土器、古墳土師器・須恵器、 灰釉陶器片		
古墳・平安 中世		縄文住居8、古墳住居20 土坑1、100、他	縄文・古墳土器、鉄器、土製品、中世 陶器		
縄文～古墳		住居11、土坑9、建物1 溝2	弥生・古墳土器、中世陶磁器20		
縄文		小竪穴1(時代不明)	土師器、磁器片、キセル		
奈良・平安		なし	土器・石片		
奈良・平安		平安住居2	土器・石片		
縄文 中世～近世		住居2、土坑18、溝2	縄文土器片60		縄文中期集落の東縁の一部
奈良～平安		なし	土器・石片		
縄文～平安		なし	土器・石片		
縄文・古墳 平安～近世		土坑2、ピット56	中世陶器片、須恵器片、弥生土器片		
古墳・平安		住居5、火葬墓1、土坑 15、集石3	弥生土器・石器、平安土師器・須恵 器・灰釉、中世陶磁器		
弥生～中世		住居1、溝3	土器片、コンテナ5(弥生～平安) 木製品、コンテナ2(平安)		

平成元年度 長野県埋蔵文化財センター組織一覧 (4月1日現在)

(○印新任、●兼任)



○理事会

理事長	樋口 太郎	(県教育長)
副理事長	伊藤 万寿雄	
常務理事	塚原 隆明	(長野調査事務所長)
理事	山極 達郎	(県企画局長)
"	根岸 伝治郎	(県高速道路局長)
"	○内田 雄治	(県教委文化課長)
"	森嶋 稔	(長野県考古学会長)
"	宮坂 博敏	(更埴市長)
"	奥村 秀雄	(長野市教育長)
"	神村 透	(考古学研究者)
監事	藤沢 亮三	(県会計局会計課長)
"	○島田 勝治	(県教委総務課長)

○事務局 (長野調査事務所)

事務局長	半田 順計
兼総務部長	佐藤 今雄
技術参与	●笹 沢 浩
調査部長	永田 伸男
総務部長	柳 沢 洋良
事務代理	
主事	

○調査事務所

松塩筑調査事務所

○塩尻市広丘高出字西原177
〒399-07 TEL 0263-54-2150

所長	堀内 計人
庶務部	部長●堀内 計人
調査部	課長 青沼 博之
調査研究員	石上 周蔵 小平 和夫 野村 一寿 平林 彰 望月 映

佐久調査事務所

○佐久市大字安原1367
〒385 TEL 0267-68-0261

所長	畑 幹雄
庶務部	部長●畑 幹雄 主事 関 次郎
調査部	課長代理 寺島 俊郎
調査研究員	宇賀神誠司 岡村 秀雄 興水 太伸 小林 秀行 近藤 尚義 新海 節生 百瀬 忠幸

長野調査事務所

○長野市篠ノ布施高田字佃963-4
〒388 TEL 0262-93-5926

所長	●塚原 隆明
庶務部	部長●半田 順計 部長補佐 松本 忠已 主査●永田伸男 主任 青島重子 主事 柳沢洋良
調査部	部長兼第1課長 笹沢 浩 第2課長 白田 武正
調査研究員	綿田 弘実 下島 章裕○飯島 明孝○入沢 昌基 伊藤 友久 平林 芳明 三石 俊司 小平 恵一 市川 隆之 内山 美彦 池田 哲○武居 公明 三上 徹也 山崎 博也 宮脇 正実○田中 正 白居 直之 斉藤 伸介 越川 長治○渡辺 敏泰 ○宮下 健司 西山 克己 久保 直隆 福島 厚利 ○黒岩 隆 寺内 隆夫 中平 智昭 木内 英一 ○下島 浩伸 原 明芳 青木 一男○岡沢 康夫 ○小林 清人○土屋 積 河西 克造○斎藤 武 稲場 隆 大竹 憲昭 吉沢 信幸 高田 実 中村 敏生○駒津 武茂○伴 信夫 山崎 光顕 上田 典男○越 修一
調査員	関 全寿

長野県埋蔵文化財センター人事異動

○転任 (3月31日付)

庶務部長補佐中沢克明 (長野地方事・商工課長補佐)
主査藤森幸枝 (松本技術専門校) 調査部長宮沢恒之
(遠山中教頭) 丸山徹一郎 (赤穂高校教頭) 調査研究
員井上城典 (神坂小) 宮尾栄三 (裾花中) 春日文彦
(坂城高) 太田典孝 (山ノ内中) 竹内稔 (下条小)

百瀬新治 (豊科東小) 岡沢秀紀 (明善中) 木内行雄
(木祖中) 市村勝己 (白田高) 降旗史敬 (筑摩高)
伊藤隆之 (茅野高) 二木明 (長野工業高) 中野亮一
(坂城高) 山上秀樹 (辰野高)

○退任 (3月31日付)

調査員百瀬陽三

○新任 (4月1日付)

庶務部長補佐松本忠已 (伊那保健所保健予防課長補

佐)主任青島重子(農業大学校)調査課長青沼博之(調査研究員)調査第2課長白田武正(調査研究員)調査課長代理寺島俊郎(調査研究員)調査研究員齋藤武(湯谷小)伴信夫(更埴西中)田中正(柳町中)渡辺敏泰(古牧小)越修一(森上小)岡沢康夫(山ノ内西小)駒津武茂(常盤中)飯島明孝(信州新町中央小)土屋積(屋代高)宮下健司(長野県史)小林清人(新採)下島浩伸(同)入沢昌基(同)武居公明(同)稲場隆(同)黒岩隆(同)

○新任(8月1日付)

調査研究員大久保邦彦(水道課)中沢道彦(長野地方事)鶴田典昭(新採)広瀬昭弘(同)川崎保(同)町田勝則(同)

(財)長野県埋蔵文化財センター日記抄(4月~8月)

元.4.1 辞令交付(県庁)

- 2 綿内地区地権者説明会(長)
- 3 第1回全体会・調査員会
- 4 新任者研修(~6日)
- 5 坂北村・松代・若穂農協等挨拶まわり
- 10 下茂内(佐)・鳥林(長)両遺跡調査開始
- 11 若穂工事区内埋文打ち合せ(公団・長野高速・文化課・センター)(長)
- 12 松原遺跡調査開始(長)
- 13 石川条里・篠ノ井遺跡群調査開始、若穂工事区内埋文打ち合せ(公団・長野高速・センター)、飯山南高校 高橋桂氏来所(長)
- 14 信濃高速道事務所開所式(副理事長)、稲荷山トンネル安全祈願祭(所長ほか)
- 15 若穂農協との打ち合せ(長)
- 17 榎田遺跡調査開始(長)
- 18 向六工遺跡調査開始(長)
- 20 北村遺跡人骨整理作業講習会(独協医大茂原、明大阿部・西沢3氏来所)(~21)(松)
- 24 奈文研松沢亜生室長来所(佐)
- 25 東部町教委石川条里遺跡見学(45名)、赤旗石川条里遺跡等取材(長)
- 26 川田条里遺跡調査開始(長)、佐久市教委須藤隆司・御代田教委提降氏下茂内遺跡石器見学、立科町大庭遺跡調査団島田恵子氏来所(佐)
- 27 塩崎地区埋文打ち合せ(熊谷・大林、名工・矢作企業体、センター)(長)
5. 2 篠ノ井高校社会科クラブ石川条里遺跡見学(5名)(長)
- 9 SBC石川条里取材(長)、公団上田工事事務所竣工式(副理事長)、東京二建精算確認(佐)
- 10 松代新聞松原遺跡取材(長)
- 11 所長・部課長会議、三所全体会(篠ノ井)
- 12 全国埋文協同プロ会議出席(常務・調査部長・松本庶務部長補佐)(大宮市)
- 14 県考古学会総会にて石川条里水田跡及び下茂内

遺跡について発表(松本)

- 17 法人会計監査
- 18 長野市埋文センター所長以下松原遺跡視察(6名)(長)
- 19 長野市新幹線・高速道対策課榎田遺跡等視察(5名)
- 22 文化課との打ち合せ(長)、下茂内遺跡調査終了(佐)
- 23 歴民博平川南氏松本市内出土の漆紙文書など文字関係資料鑑定(歴民博)(松)
- 24 調整会議(公団・高速道局・長野高速・文化課・センター)(長)
- 25 北村人骨につき独協医大河部氏指導(松)(~26)、長野市立綿内小6年児童榎田遺跡見学(80名)(長)
- 26 名古屋公団精算確認(長)
- 28 日本考古学協会にて北村遺跡発表(東京)
- 30 第17回理事会(篠ノ井)、NHK・NBS・TSB・信毎・読売・毎日・中日松原遺跡等取材、長野市南部ブロック学年会4学年会職員石川条里遺跡見学(20名)(長)
- 31 サンケイ・信毎石川条里・松原遺跡取材(長)、松代農協対策委員会総会(所長・部長・課長)
6. 1 長野県史刊行会塚田主任編集委員来所、塩崎地区内埋文打ち合せ(公団・業者・センター)、毎日石川条里・松原遺跡取材(長)
- 2 文化課との打ち合せ(長)
- 3 筑波大岩崎卓也・奈文研木下正史・文化庁山崎信二・更埴市教委矢島宏雄氏石川条里・松原遺跡視察、信毎・毎日・松原遺跡等取材(長)、仮称「県立歴史館」について文化課と打ち合せ
- 4 鳥林、石川条里遺跡調査区⑥・⑦・⑩現地説明会(見学者300名)、朝日・信毎・読売・TSB・NHK取材(長)
- 5 長野県史刊行会中嶋常務・塚田主任編集委員来所、埼玉県立本庄高校坂本和俊氏石川条里遺跡見学、朝日・TSB石川条里遺跡取材(長)
- 6 大室古墳群調査打ち合せ(明大塚・小林両教授、石川助手、文化課・センター)(明大)(長)
- 7 文化財に関する施設建設基本構想懇話会(副理事長)、田中琢奈文研埋文センター長松原・川田条里遺跡視察(長)
- 8 高速道関連調整会議(公団・高速道局・長野高速・文化課・センター)(長)、全国埋文協定会(局長ほか)(静岡県)
- 9 明大小林三郎教授・石川日出志助手石川条里遺跡等視察、鳥林遺跡調査終了(長)、第1回所内研修会一塩尻市菖蒲沢遺跡出土品見学(松)
- 13 岡谷市南部中小口徹氏来所、信大笹本正治助教授石川条里遺跡視察、石川条里遺跡②-1調査区調査開始(長)
- 14 文化課岩野地籍試掘立ちあい、長野市立東条小学校児童松原遺跡見学(98名)(長)

- 6.15 県考古学会森嶋会長・同埋推委宮坂委員長・林副委員長、石川条里・松原遺跡視察(長)
- 19 信毎松原遺跡取材(長)
- 20 NBS松原遺跡取材(長)
- 21 読売松原遺跡取材(長)
- 22 県文化財保護指導委員石川・松原遺跡等視察(20名)、県高速道関連連絡調整会議一行松原遺跡等視察(長)
- 23 長野市立寺尾小学校6年児童松原遺跡見学(54名)(長)、木曽教育会北部支会社会教科会来所(松)
- 26 信濃教育会南部支会郷土学習実技講習会で講演、同会石川条里遺跡見学、大阪大学北修芳隆氏石川条里遺跡見学、石川条里遺跡⑫調査区調査終了(長)
- 27 文化課地ノ目・一丁田遺跡試掘立ちあい、川中島有線放送石川条里遺跡取材(長)
- 28 若穂工事区内埋文打ち合せ(公団・文化課・センター)(長)
- 29 長野市立小牧小学校父兄石川条里遺跡見学(6名)(長)
7. 3 文化財保護協会で講演ならびに石川条里遺跡見学(110名)(長)
- 4 石野博信榎原考古学研究所副所長招へい指導(石川条里遺跡など)、早大橋本博文氏石川条里遺跡視察(長)
- 5 坂北村老人学級向六工遺跡見学(87名)(長)
- 6 天理大学金閑怒教授、天理参考館置田雅昭氏招へい指導(石川条里遺跡等)(長)
- 7 毎日石川条里遺跡取材(長)
- 8 長野市教育会東部支会郷土資料委員会松原遺跡見学(50名)(長)
- 11 文化課との打ち合せ(長)、所長会議(事務局)
- 12 木曜会石川条里遺跡見学(20名)、若穂工事区内埋文調整会議(公団・文化課・センター)(長)
- 14 塩崎地区内埋文調整会議(公団・長野高速・文化課・センター)(長)
- 15 信大斉藤豊助教授現地指導(石川条里遺跡等)、中信高校教育研究会で講演(松)
- 16 榎田・川田条里遺跡現地説明会(400名)、信毎・若穂有線取材(長)
- 17 坂北村立聖南中1学年生徒向六工遺跡見学(70名)(長)
- 18 森山公一氏来所(中島B遺跡石器観察)(長)
- 19 長野県遺跡調査指導委員会(長野)、同一行松原・川田条里遺跡視察、信毎・NHK・SBC・NBS等取材(長)
- 20 林茂樹氏来所、宮崎大学藤原宏志助教授招へい指導、古環境研究所松田隆二氏同行(石川・川田条里遺跡)、文化課との打ち合せ、長野市立川田小学校6年児童榎田・川田条里遺跡見学(72名)(長)
- 21 石川条里遺跡⑥調査区調査終了(長)
- 24 鶴前遺跡調査開始、長野県史刊行会中嶋常務理事・塚田編纂委員長来所(長)
- 26 文化財に関する施設建設基本構想懇話会(副理事長)
- 27 調整会議(公団・高速道局・長野高速道・文化課・センター)(長)、北村遺跡出土遺物展報導関係公開(松)
- 30 篠ノ井遺跡群現地説明会(240名)、TSB・信毎取材(長)、北村遺跡出土遺物展・講演会(講師独協医大茂原助教授)(来場者1,008名)(松)
- 31 石川条里遺跡⑩調査区調査終了、南長野農協(旧松代農協)と打ち合せ(長)
8. 1 新任者辞令交付(県庁、朝日・SBC松原遺跡等取材(長))
- 2 南長野農協両組織会議(所長・調査部長・調査第2課長出席)、長野市教育会夏季大学で講演(長)
- 3 石川条里遺跡②-2・③調査区調査開始(長)
- 4 文化課との打ち合せ(長)
- 6 松原遺跡現地説明会(320名)、都出比呂志 大阪大教授・長野県考古学会(150名)・日本考古学協会埋蔵文化財保護対策委員会(10名)石川条里・松原遺跡見学、県考古学会考古学講演会で講演、信毎・TSB・毎日取材(長)
- 7 明大塚初重・小林三郎教授石川条里遺跡視察、松原遺跡西区調査開始(長)
- 8 信州社会科教科研究会松原遺跡見学(20名)(長)
- 9 坂北村立聖南中社会科クラブ向六工遺跡見学(15名)、明大考古学博物館友の会川田条里遺跡等見学(45名)(長)
- 10 ほ場整備事業に係る石川条里遺跡の調査について打ち合せ会議(長野地方事務所・文化課・市埋文センター・センター)、塩崎地区埋文調査打ち合せ(公団・業者・センター)(長)
- 11 事務局・所長会議(文化課・センター)、榎田遺跡今年度分調査終了(長)
- 17 辰野町教委赤羽義洋・明大清水康二氏石川条里遺跡等見学(長)
- 18 愛知大学加納俊介・愛知県埋文センター赤塚次郎氏松原遺跡等視察
- 22 所長・部課長会議(篠ノ井)
- 23 神奈川歯科大学小出義治教授石川条里遺跡等視察、大室古墳群調査打ち合せ(明大・文化課・センター)(長)
- 24 石川条里遺跡⑦調査区調査終了(長)、公団名古屋建設局管理課長新任挨拶のため来所(松)
- 25 塩崎地区埋文打ち合せ会議(公団・業者・センター)(長)
- 28 群馬・長野2県会議(副理事長以下4名出席)(~29日)
- 30 文化課窪河原遺跡試掘立ちあい(~31日)、毎日取材(長)